

平成30年度第3回陸前高田市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成31年2月18日（月曜日）
午前 9時30分 開会
午後10時10分 閉会
- 2 場 所 市役所4号棟 第4会議室
- 3 出席者 戸羽市長、金教育長、佐々木教育委員、伊藤教育委員、遠藤教育委員、木下教育委員
- 4 事務局 戸羽教育次長、熊谷学校教育課長兼学校給食センター所長、中山教育施設整備室長、小野寺生涯学習課長補佐、佐々木副主幹

○教育次長

ただ今から、平成30年度第3回陸前高田市総合教育会議を開会いたします。
はじめに、戸羽市長からご挨拶をいただきます。

○市長

皆様、おはようございます。

4月から大きく機構改革をすることになりまして、中教審からも出ているように、スポーツ分野は教育委員会の所管から外すことにいたします。その中で特に学校教育は、市民の皆さんから見ても教育の中心だろうと思っておりますので、力を入れていただきたいという思いがあります。

また、市の奨学金制度につきましては、陸前高田市に戻ってこられる方については返済の必要がないよう制度を変更したところ、たくさんの問合せがあるということです。本市としては人材育成が大きな課題でありますので、教育委員会が果たす役割も大きくなるものと認識しております。

本日は忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○教育次長

次に、金教育長、挨拶をお願いいたします。

○教育長

本日はお集まりいただきましてありがとうございます。

これから松原のあたりには球場やサッカー場、広い芝生の場所ができ、アバッセの横には市民文化会館ができて高田のまちが変わっていく状況を想像してください。

今までの教育委員会は、大人も含めて個の学びを深めてきましたが、これからはまちづくりの観点をプラスした形で改変となります。市長からスポーツの話がありましたが、たとえば、球場や夢アリーナ、その他いろいろなものを繋ぎながら、ダイナミックな営みができるように全庁を挙げて取り組んでいきます。

これまで生涯学習は、市長をトップとした生涯学習推進本部で他の部局と連携しながら事業

を進めてきましたが、組織上でも本格的になります。その狙いを委員の皆様にご理解いただきながら、本日はたくさんのご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○教育次長

続きまして、協議に移ります。

協議の進行につきましては、市長にお願ひいたします。

○市長

それでは、3の協議に入らせていただきます。

行政組織の改革（案）について、事務局から説明をお願いします。

○教育次長

この度、市の行政組織の改革がございます。先ほど市長から言われたように、4月1日に向けて今から動きをつくるわけですが、文化・スポーツの部分は市長部局で条例を制定して移すということをお議会に提案することになっております。

（以下、資料1により説明）

○市長

ただいまの説明について、皆さんから何かございませんか。

○佐々木委員

自主企画講座が開かれているのはいいと思うのですが、芸術文化協会からは、以前の市民講座がなくなって一般の人が参加しづらくなっているという声聞かれます。年間を通して芸術に関する活動が続けることが難しい状況の中で、市民芸術祭への出品数が少なくなると懸念されています。諸団体の高齢化も進んでおり、若い人が入らない状況です。

市民講座の復活というわけではなく、新しい部署において計画を立てる際には、そのような観点が必要だと感じました。

○教育次長

教育振興基本計画の芸文協への説明会の際に今のようなお話が出ましたが、新しい人をどういう形で求めればいいのかということをお委員会でも考えていますので、具体的になりましたら、またご相談させていただきます。

○佐々木委員

以前は一本松記念館の構想があったと思ひます。改革案の中には記載がありませんが、どのようになるのでしょうか。

○市長

一本松記念館については、当初は博物館との合築という話でしたが、文化庁から災害復旧の

観点からは認められないということでした。

我々としては何かしらの形にしたいのですが、一度見直しをしようと考えました。津波伝承施設もできますし、わざわざ類似する施設を建てることもないだろうということです。

財源がありませんので、財源をどうするか、どれくらいの規模にするかを今練り直しているところです。基本的にはつくる方向で進めていますが、具体的には書き込んでおりません。

これは教育分野での仕事ではないということになっています。

○市長

他にありませんか。

次に進みたいと思います。

「第9次陸前高田市教育振興基本計画の策定について」を議題といたします。説明をお願いします。

○教育次長

それでは、資料2を基に説明をさせていただきます。

(以下、資料2により説明)

策定スケジュールですが、第2回の審議会が終わりまして、現在実施しているパブリックコメントを基に第3回の審議会では素案の答申案を作成いたします。まちづくり総合計画の議決を待って、審議会でも審議していただき答申となる予定です。

最終的には教育委員会の定例会で委員の皆様と協議、議決をいただくこととなりますので、よろしく申し上げます。

○市長

補足でまちづくり総合計画の話をさせていただきたいのですが、市の最上位計画ですから教育振興基本計画と方向性がかみ合わないといけないという現状がございます。

市民の皆様のご意見を基にして答申をいただいたものがございます。議会の分科会においてさまざまな意見をいただいているところですが、最終的には、議会から修正案が出されるという流れになると思います。

文言や表現等の修正であり、内容や方針が変わることはありません。それに基づいて、委員の皆様と教育振興基本計画を協議いただくということになります。それを踏まえて、皆様からご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

○教育次長

もう1つ補足です。行政組織の改編との関連ですが、現在はスポーツ、生涯学習、芸術文化についても教育振興基本計画の中に入れておられます。生涯学習や社会教育については、補助執行という形でこれからも教育委員会が関わってまいりますので、この点についてご理解をいただきたいと思います。

この内容を移管先に引き継ぐために、陸前高田市と陸前高田市教育委員会の連名で作成したいと考えております。

○市長

皆様から何かございませんか。

○伊藤委員

委員だけで話し合う機会があれば良かったかなと思います。

○教育次長

最終的には、機会を設けて皆様で協議していただこうと考えておりますが、できれば事前にパブリックコメントを反映したのを見ていただいて、最終的な答申案に盛り込めれば議決についても時間がかからないと思います。

○市長

次に進ませていただいてよろしいでしょうか。

協議の3番目ではありますが、「奨学金制度の改正について」を議題といたします。説明をお願いします。

○教育次長、学校教育課長

お手元の資料3をご覧ください。

(以下、資料3により説明)

○市長

皆様からご意見ご質問はございませんか。

○遠藤委員

卒業後も高田に住んでいる期間は返還が免除されるということですよ。たとえば、一定期間を高田で過ごした後にやっぱり東京へ行きますとなった場合に返還が始まると思うのですが、こういった計算がされるのでしょうか。

○教育次長

返還の期間は10年が最長です。たとえば、最初の3年間高田に住んでいたとなるとその分が免除されます。年に1度返還の手続きを取りますので、その際に居住地等の確認をして減免に該当するかどうかを判断します。

○木下委員

「卒業後に市内に居住し、かつ就業している期間について返還を免除」とありますが、これは市内で就業しなくてはならないという意味でしょうか。

○学校教育課長

市内に住所を有すれば、就業先は市外でも該当となります。

○市長

今まで12人枠でやってきましたが、30人の申請があるとすれば、教育委員会ではどう考えていますか。

○学校教育課長

来週奨学生の選考委員会がありその中で議論をしていただくのですが、まずは収入要件があります。要件を広くとっていますので、そこで落とされる方はほぼいないと思われます。

教育委員会としましては、12名という枠にとらわれず、困っている方を広く該当させたいという考えで選考していきたいと思っています。ですが、どこかで線を引かなくてはなりませんので、選考委員会の中で検討してまいります。

○市長

実際、選考委員会で線を引くというのも難しいと思います。仮に30人全員が該当して高田に帰ってくると考えると、最後には財源が無くなってしまいますよね。

帰ってきてもらうためにこの制度があるのだから、要件を満たしてやる気があるのだら、一般財源からでも足していかないと。

せっかく復興を一生懸命やっているのに若い人が出て行ってしまうと困るので、そこは皆さんで臨機応変にやっていただきたいと思います。

○教育次長

今市長が話されましたが、シミュレーションしたときには5年でパンクするということも想定はしましたが、仮に全員が戻ってくるとしても、その時点ではあくまでもお金を貸しているという形です。

学校教育課の奨学金ということではありますが、基本的には若者に定住してもらうための施策の一つだと考えておりますので、そういったことも頭に入れながら事務を進めたいと考えております。

○市長

他にありませんか。

以上で予定をされておりました協議は終了いたしました。

○教育次長

ありがとうございました。

協議4のその他ですが、皆様から何かございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

来年度は大きく組織が変わりますので、それを前提に進めてまいりますのでよろしく願いいたします。

以上を持ちまして、平成30年度第3回陸前高田市総合教育会議を終了させていただきます。
どうもありがとうございました。